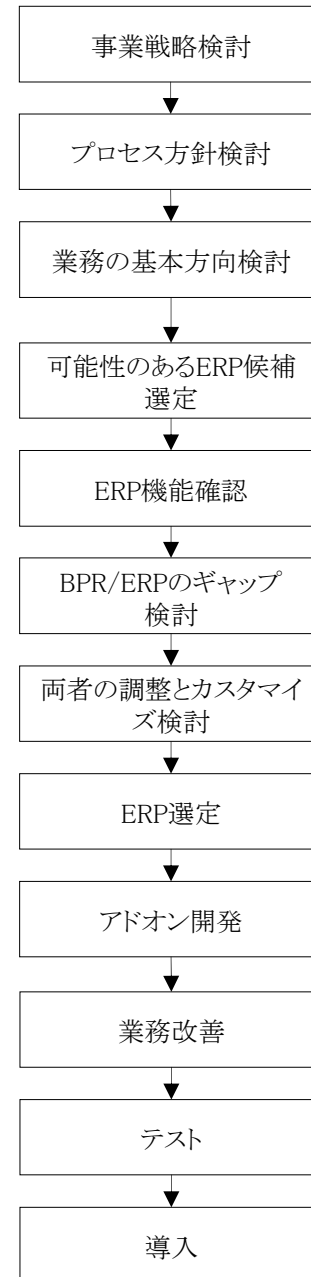


4・6 ERPの導入とBPR

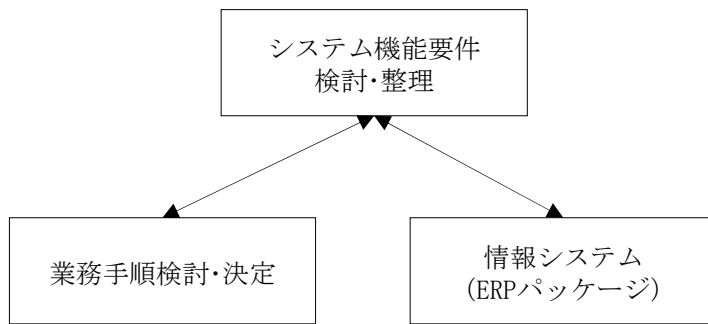
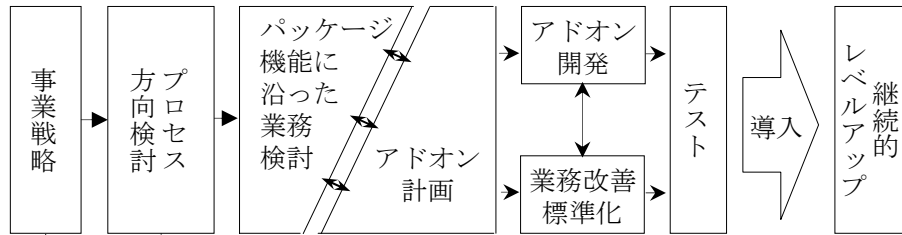
ERPの導入はビジネスプロセス改革(BPR)と同時に実施することが望ましいでしょう。後から業務を変えるとシステムにも手を入れる必要があるからです。一方で、ITベンダーの言う「パッケージであるERPに業務を合わせる」方式では、企業の問題が全て解決できるとは限らずシステム導入が目的となった活動になりがちであるのも事実です。

一方BPR先行型で進めると、パッケージとの多くのギャップが発生し、過大なカスタマイズ費用、期間、品質問題等が発生する危険があります。理想的な進め方としては、両者を並行して進めるスパイラルアップ方式が良いでしょう。これはBPRの基本検討と同時に、可能性のある複数のERPの選定を行い、求める機能がどこまで実現できるかを検討し、両者の整合性を取った方向を検討する方式です。双方の主張を明確にして調整するために、十分な検討とコミュニケーションが重要ですが、このような徹底した議論を通すことで、内容の理解と検証が早い段階から可能になり、運用時の問題も解決することになるのです。

展開ステップ



ERP構築プロセス



双方からのスパイラルアプローチで同時並行的に進める。情報システムはプロトタイプで機能検証しつつ進める。